

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎演習 I		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本 宏史 他	D305	sakamoto	木曜日 10:00~13:00		
授業の目的・概要	<p>本演習の目的は、大学で学ぶために必要な姿勢と技術を身に付けることである。具体的には、社会人としての自立した生活・学習方法に役立つ知識を学ぶ。また、書籍や文献の精読法、レポートの書き方、プレゼンテーションの基礎を学ぶことで、大学の勉学全般に欠かせない学習技法の習得を目指す。本演習は、学科を横断した小人数構成の学生グループをクラスとし、各クラス担任による指導のもとで行う。新型コロナウイルス感染症予防のため、課題学習や同時双方向型の遠隔授業を取り入れる。具体的には、メールや Microsoft Teams を利用してフィードバックや学生間の意見交換などを行い、技術と知識の定着を図る。</p>				
学習上の助言	<p>本演習は 3 学科混成の小人数クラス単位での演習授業であることから、学生同士にはオンラインではあるが、学科を超えて積極的にコミュニケーションを図ってほしい。また、演習を進めていくなかで疑問・不安を感じたときにはためらわずメールやチャット機能を使って積極的に教員に相談をしてほしい。 *授業計画中の S1~S3 については備考欄を参照すること。</p>				
教科書	大学生 学びのハンドブック (4 訂版) /編著: 世界思想社編集部 /世界思想社				
参考書	必要に応じ講義中に紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	大学での生活・学びがどのようなものか理解し、説明・実践することができる。		HSU(2), HSU(5), HSU(6)		
②	レポートの作成方法を理解し、内容・構成の整ったレポートを書くことができる。		HSU(2), HSU(5)		
③	プレゼンテーションを行うための基本的な知識・技術を身に付け実践することができる。		HSU(2), HSU(5), HSU(6)		
④	他者とのコミュニケーションを図る上での基本を理解し、実践することができる。		HSU(1), HSU(4), HSU(5)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	教科書を参考に、自己紹介の仕方を学ぶ。添付ファイルの取り扱い方法を学ぶ。フィードバック: 自己紹介文を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡→S1	印刷教材等による授業	課題: 自己紹介文を作成する。	2.5	
2	資料の読み方・まとめ方①: 論文等の構成を理解する。資料から必要な情報を読み取り、要約する方法について学ぶ。フィードバック: 提出された要約文を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡→S2	印刷教材等による授業	教科書 12-19 ページを読む。資料を読み要約する。	3	
3	資料の読み方・まとめ方②: 課題の解説と資料の読み方・要約の方法のまとめを行う。フィードバック: 提出された要約文を教員が添削し返却する。意見交換: メールによる連絡→S2	印刷教材等による授業	教科書 28-35 ページを読む。資料を読み要約する。	3	
4	レポートの作成①: レポートの主題を決め、必要な情報を集める。フィードバック: 提出された課題に教員コメントをつけ返却する。意見交換: メールによる連絡→S2	印刷教材等による授業	教科書 36-51 ページを参考にレポートのタイトルを 2 つ作り、参考資料を付けて提出。	3	
5	レポートの作成②: レポートについての自己評価形式を立案する。集めた情報を整理し、レポートの構成を考える。フィードバック: 提出された課題に教員コメントをつけ返却する。意見交換: メールによる連絡→S2	印刷教材等による授業	レポートのタイトルを一つに絞り、教科書 47-50 ページを参考に、自己評価シートを作成する。	3	
6	レポートの作成③: レポートの形式、文章の書き方などを学び、レポートの予稿を作成する。フィードバック: 提出された課題に教員コメントをつけ返却する。意見交換: メールによる連絡→S2	印刷教材等による授業	教科書 44-45, 98-103 ページを参考に、レポートを作成して提出。	3	
7	レポートの作成④: チェックシートに基づいて全体を点検し、レポートを完成させる。フィードバック: 提出された課題に教員コメントをつけ返却する。意見交換: メールによる連絡→S2	印刷教材等による授業	教科書 38-40, 60-61 ページを参考に、作成したレポートを点検・修正する。	3	
8	8 回~15 回の講義についての説明。Teams を使った授業の進め方、課題の提出方法について	同時双方向型遠隔授業	教科書 46-51 ページを読む。	1	
9	教員から添削後に返却されたレポートを見直し、完成させる。	同時双方向型遠隔授業	教科書 98-103 ページを読む。課題レポートを完成させる。	1	

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

10	プレゼンテーションの基礎①:プレゼンテーションについての自己評価形式の説明、パワーポイントの使用法、効果的なスライド作成技術について学ぶ。→S2	同時双方向型遠隔授業	提示資料を参考に課題（自己評価シート）を完成させる。	1.5
11	プレゼンテーションの基礎②:各自のテーマで、スライド資料を作成する。→S2	同時双方向型遠隔授業	教科書 72-87 ページを読む。課題を完成させる。	1
12	プレゼンテーションの基礎③: プレゼンテーション用スライド資料を完成させ提出。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型遠隔授業	教科書 110-113 ページを読む。課題を完成させる。	1
13	教員からのコメントと返却されたプレゼンテーション用スライド資料を見直し、完成させる。	同時双方向型遠隔授業	発表のシミュレーションをする。	1
14	プレゼンテーションの基礎④: 各クラスに個々が作成したスライド資料提示、自分以外が作成したスライド資料に対して、コメントを書く。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型遠隔授業	発表のシミュレーションをする。発表の振り返りを行う。	1.5
15	講義を振り返り、自己評価を行う。今後の大学生活、学びについて計画を立てる。自己評価と今後について達成度評価レポートを書く。[各クラス] →S1, S2	同時双方向型遠隔授業	達成度評価レポートを完成させて提出する。	0.5
試	定期試験は行わない。			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	30	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	15	15	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	15	5	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	10	0	5	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	5	0	0	5	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
レポート	①	執筆ルールに従ってレポートを作成できているか、適切な文章表現ができているか、テーマに沿った情報を収集できているか、等を評価する (40%)。	提出したレポートにコメントを付けて返却する。全体に対する指摘は、講義中の解説時間もしくは 9 回目以降にコメントする。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
成果発表	①	授業内外のグループワークの集大成としてのプレゼンテーションの準備、中身、表現技術、発表へのコメント、質問など積極性を評価する (30%)。	14 回目以降にプレゼンテーションの評価結果の発表とともにフィードバックを行う。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
ポートフォリオ	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
その他	①	演習への取り組み (練習や質疑応答)、課題の提出状況、提出された課題を総合的に判断する。「達成度評価レポート」から、意欲や成長を評価する。(30%)	提出物に対しては必要に応じてコメントを付けて返却する。全体に対する指摘は、講義中の解説時間もしくは 15 回目にコメントする。
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

備 考

大学での「学び」はこれまでの「学び」とは異なり、非常に多くの特別な能力（スキル）が必要とされる。健康科学大学では、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ（健康科学部）」、「スタートアッププログラムⅠ・Ⅱ（看護学部）」という大学初年次の演習系授業を中心として、これらのスキルの習得を目指している。本講義で習得を目指すスキルは、以下の3つである。

- (1) スチューデント・スキルズ (Student Skills) : 大学での生活の仕方、図書館など施設の利用方法、メンタルヘルスの維持、グループワークでの基本、キャリアデザインなど →S1
- (2) スタディ・スキルズ (Study Skills) : 書籍や文献の読み方、ノートの取り方、文章の書き方、レポートの作成方法、口頭発表の基本、学習成果の評価など →S2
- (3) アカデミック・スキルズ (Academic Skills) : 問題の設定およびその解決に必要な情報の収集・分析方法、論理的かつ効果的な発表方法など →S3

これらのスキルは重なり合う部分もあり、他の講義でも部分的にその習得を目指すことがある。本学の学生にはこれらのスキルを一早く習得し、自らの「学び」を深めていくことを期待する。

担当教員：◎坂本（宏）、駒形、遠藤、池上、大塚、坂本（祐）、中西、山鹿、池谷、志茂、柁木、古川、瀧口

実践的授業の内容：プレゼンテーションの準備、実践など、グループワークを中心としたアクティブラーニングを行う。

※必修の演習科目なので欠席や遅刻をしないように努めること。演習の欠席は3回までしか認められない。遅刻も1回で欠席0.5回の扱いになるので注意すること。

感染症予防のため、Teamsを使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推薦する。

また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある。